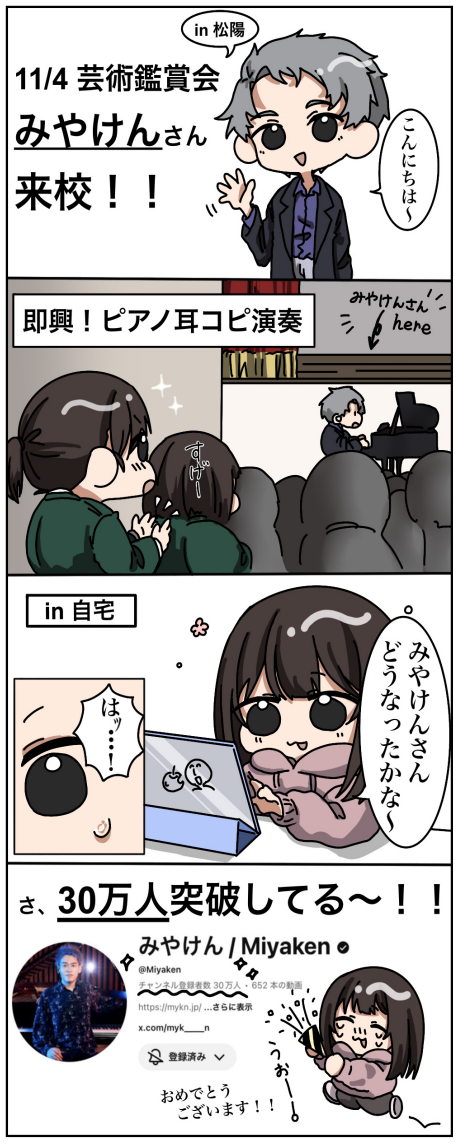
THE SHOYOs

VOL.7

ザ・ショーヨーズ

濵田藍華



校舎群右端にそびえる三角塔のある芸術棟。本校の8割を占める普通科生徒にとっては未知の存在だ･･･

芸棟の謎に迫る ①

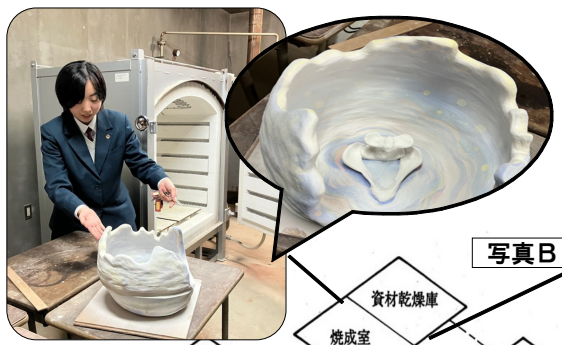
～美術科1階編～

県内唯一の音楽科、美術科を有する松陽高校。その学びの中心となるのが芸術棟だ。平成8年に完成した3階建てのこの校舎は音楽・美術の充実した設備が魅力だが、実は多くの普通科の生徒は在校中に入ることのない謎の領域だ。

今回からシリーズで謎に包まれたこの芸術棟を本紙記者が探訪する。今回は、美術科の宍野寛先生の案内で探訪した～美術科1階編～を報告する。

特注の二ケ像 400万円

芸術棟に入ると、まず目に飛び込んでくるのが正面玄関の吹き抜けに立っている大きな「サモトラケのニケ像」だ。ヘレニズム彫刻の傑作とされる作品の複製は来訪者を圧倒する。欧州海外研修でルーブル美術館を訪れた生徒が実物の像に感動。「鹿児島でもう一度見たい」という声があがり特注した。平成9年3月に設置され、当時の価格で約400万円だったとか。現在でも芸術棟のシンボルとして存在感を放っている。



写真A　写真B

芸術棟１階の図

写真C

謎の木像と焼成室の電気窯

陶芸室では本格的な陶芸の工程を学ぶことができる。粘土で作品を形成し、外にある焼成室で焼き上げる。

焼成室には電気窯とガス窯があり、今は電気窯での作品制作がほとんどだそう。ちょうど美術科の藤﨑美海さん（3－8・西陵中）が愛猫の喉ぼとけを中にあしらった作品を作っていた（写真A）。焼成室の外には謎の木像が並んでいて、不気味な雰囲気を漂わせていた（写真B）。

おじさんの霊が彫刻室倉庫に住む？

彫刻室は、彫刻専攻の生徒が主に使用していて、受験に向けた練習や作品制作が行われている。粘土などの柔らかい素材を盛り付けて形作る塑像の制作ができ、粘土練り機等がある。宍野先生によると彫刻室にある倉庫には、おじさんの霊が住んでいるという噂があるとか（写真C）。また宍野先生は「夜に芸棟を施錠後に、なぜか1階トイレで電気が点いたり消えたりしたことがあった。あれはいったい…」と語った。ディープな美術科エリアの探検は続く。次は2階へ…。次回もどうぞ期待。〔坂元咲愛〕

趣味への誘い　第１回

道統少林寺流 錬心舘空手道

今回から始まる本校生の趣味や特技を紹介するコーナー「趣味への誘い（いざない）」。第1回は、本紙記者の長野雄太（1－4・西陵中）が通う「道統少林寺流錬心舘空手道」だ。

道統少林寺流錬心舘空手道は、日置市に総本山を置く伝統的な空手道だ。保勇（たもつ いさむ）初代宗家を開祖とし、現在は保勇三（たもつ ゆうぞう）三代宗家のもとで礼儀と節度を基本に身を修し「人間形成の道」という指導理念のもと、子供から大人まで日々稽古に取り組んでいる。

稽古の内容としては、「型、約束組手、組手」がある。型で最初に習うのは月明かりの中で戦う想定の半月（セーサン）だ。その他にも、6つの型があり、これらを「正流七法」と呼び実際に相手と戦っている場面が想定されている。

「約束組手」は、突き手と受け手に分かれ、相手の攻撃を瞬時にかわす訓練を行う。三七番まであり、それをすべて覚えて、相手が鳩尾（みぞおち）を狙ってくる突きを、ぎりぎりまで引き寄せてから受けを行う。「組手」は、相手と対峙し、突きや蹴りなどの攻防を行う。頭を守る面、鳩尾を守る胴、手を守る小手（こて）と呼ばれる道具をつけて、試合をする。

私が通う西陵支部で指導する門下生の一人は「基本稽古の時にはみんなに気を配り小さな子にも分かるように教えることを大切にしています。年齢も体力も違うので一人一人を尊重した指導をします」と語った。

道統少林寺流錬心舘空手道は今年で70周年を迎えた。強さだけではなく礼節も身に付く空手道。あなたもぜひ門を叩いてみては。〔長野雄太〕

江口浜海浜公園での寒稽古の様子。仲間と声を掛け合う稽古中は寒さを不思議と感じない。

★詳しくはHPを見てね！

松陽グルレポ探検隊

松陽高校生におすすめのグルメスポットを紹介する「松陽グルレポ探検隊」。学校周辺のお店を訪ね、高校生記者の目線でお店の魅力を紹介する。

今回は、松元地区の高台標高180Mのお茶畑に囲まれた日本茶カフェ「坂之上製茶SABO」だ。

坂之上製茶ＳＡＢＯ

坂之上製茶ＳＡＢＯは、坂之上勝利さん・和美さんご夫婦が2024年3月にオープン。お店の名前のＳＡＢＯは茶房が由来で「お茶を通じて人が集い心が和む空間」という意味を込めたという。建物には鹿児島県産の杉を使用し、温かみのある落ち着いた雰囲気で、心も体も安らぐ空間になっている。

メニューには自社で栽培・製造した松元茶の煎茶、紅茶、ほうじ茶をはじめ、抹茶ラテなどのドリンクやジェラート、スイーツなどがあり、大きな窓ガラスから一面に広がる茶畑を眺めながらこだわりのお茶の美味しさを存分に楽しむことができる。

今回私達は抹茶ラテ（アイス・550円）（写真右）、アフォガード（抹茶・500円）（写真左）（いずれも税込）を味わった。抹茶ラテは、滑らかなミルクとみずみずしい抹茶が溶け込んだすっきりとした大人の味わい。アフォガードは、甘いミルクジェラートと濃いめに点てた抹茶がマッチした逸品だ。

「お客様からお茶への評価を聞けることがお茶の栽培のやりがいになる」と勝利さん。お茶の栽培農家ならではのクオリティの高いお茶を楽しめる素敵なお店に、あなたも訪れてみてはいかが。

営業時間10～16時。15時30分ラストオーダー。日・月曜休　鹿児島市直木町2970

〔坂元咲愛・内野心春〕

「まるでお茶畑の上に浮かんでいるようなワクワクする空間をめざした」という

「これからはお茶摘みなどを体験できるティーツーリズムにも挑戦したい」と語る坂之上さんご夫婦

多彩な茶器が販売されていて見るのも楽しい

〔松 陽子のクイズタイムの答え〕答えは「すべて正解」です。松陽を冠した高校は本校を含めて全国に６校あります。